

【教育目標（目指す児童像）】

・かしこい子 ・やさしい子 ・たくましい子

【目指す学校像】

学びと笑顔、元気あふれる学校



【3つのキーワード】

重なるの協調 柔軟な捉え方

愉快地に楽しく

校長 渡部 順一

くじけそうになったら



【始まったかけ足、持久走の学習（4年生）】

困難なこと、やりたくないこと、苦手なことをやろうとする時、人はだれしも、くじけそうになります。

例えばこの時期でいうと、体育の授業で「かけ足」や「持久走」の学習に取り組みます。この学習は、呼吸が苦しくなったり足が痛くなったりと、苦しい場面が多くあるので子供たち

にあまり好意的には受け取られていません。（心肺機能などの全身持久力の向上、爽快感の体験、克己心などのメンタル面の育成など、子供たちの健やかな成長に大きく寄与します。）

そんな時は、どうすればいいでしょうか。

落ち着いて周りをよく見ると、一生懸命にがんばっている人が、必ずいます。その姿から、元気をもらい自分なりにがんばれるといいと思います。このことは、全校朝会でもお話ししました。

そして、一人ではがんばれない時、周りの友達が応援してくれます。写真の4年生の授業もそうでした。我が事のように、がんばって走っている、又は走り切った友達に、声援を送っていました。

私たちも、子供たちが少しでも意欲的にがんばれるよう、授業を工夫していきます。工夫のキーワードは、「記録、協力、応援、やり遂げる」です。

子供たちが、課題にチャレンジし、乗り越えられるよう、引き続き、ご支援ご協力をよろしく願います。

＜成長の証＞

秋季運動会への応援、ご協力に心より感謝申し上げます。シャッターチャンスでの、ご移動のご協力も、大変助かりました。厚く感謝申し上げます。

今回の運動会で、特に子供たちの成長を感じたのが、1、2年生の徒競走や3、4年生の障



【低学年徒競走のスタート】

害物競走で、スタート時の「フライング」が、ほとんどなかったことです。

子供たちが、「早くスタートしたい」や「勝ちたい」という気持ちと身体を、きちんと止めることを、自分でコントロールすることができたことは、大きな成長の証です。立派です。